

ぎふ感染症かわら版

令和8年5月1日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）



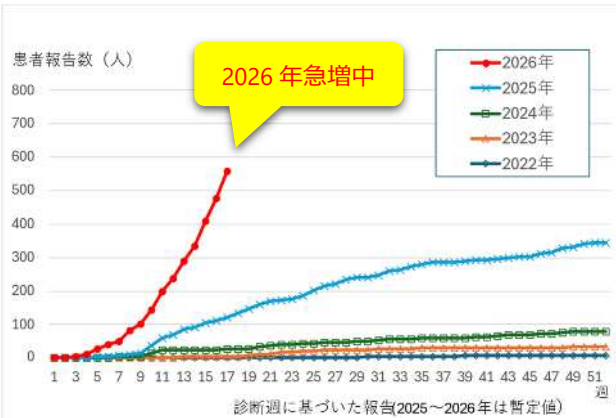
全国的に「麻しん」が流行しています！

今年の2月以降、全国的に麻しん（はしか）の患者報告が相次いでおり、高校や飲食店での集団発生事例も起きるなど、加速度的に報告が増加している状況です。

麻しんは、麻しんウイルスによる急性感染症で、空気感染や接触感染で人から人に感染します。感染力が極めて強く、免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症すると言われています。よくある「子どもの病気」と軽くみられることがありますが、大人も感染し、重症化すると重篤な合併症を引き起こして死亡することもある重大な感染症です。

患者発生状況

＜累積患者報告数（全国）＞



＜岐阜県内の報告数（過去5年間）＞

届出日	年代	性別	渡航歴	予防接種歴
2024.3.7	50代	女	あり (UAEからの航空機に 麻しん患者が同乗)	不明
2025.3.5	30代	女	あり (ベトナム)	不明
2025.3.20	20代	女	なし	不明
2025.5.10	10歳未満	男	あり (ベトナム)	なし
2026.2.28	40代	男	あり (インドネシア)	不明

どんな症状がでるの？



- ・感染すると約10日後に発熱、咳、鼻水など風邪のような症状が出て、2～3日熱が続いた後、高熱と発しんが現れます。
- ・肺炎や中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎を発症すると言われています。

疑わしい症状が出たら？

- ・まずは医療機関に電話して、指示に従って受診してください。
- ・直近に海外旅行に行ったり、症状のある人と会ったことがあれば医療機関に伝えてください。
- ・医療機関への移動は、可能な限り公共交通機関の利用を避けてください。

予防方法は？

- ・ワクチン接種が最善の予防対策です。

MRワクチン（麻しん・風しん混合）の2回接種で97～99%の予防効果があるとされています。

＜定期接種（無償）＞

第1期	1歳以上～2歳未満 (1歳の誕生日後、できるだけ早く)
第2期	小学校入学前の1年間 (忘れがちなので、気をつけて！)

※定期接種のタイミングを逃した場合や、接種歴が分からない場合は、定期接種以外にも、自費で接種することができます。

ワクチン(2回)接種率



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

